

シルバー

ところざわ

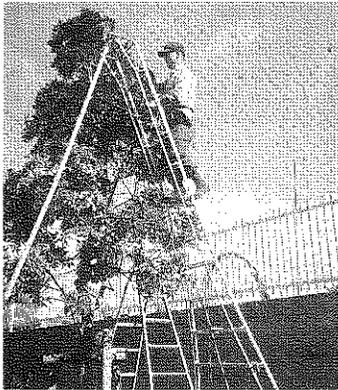


◆発行 社団法人 所沢市シルバー人材センター広報委員会 1995 No. 53

11月号

＝会員安全就業推進委員会＝

秋空に舞う……植木職就業現場激励訪問!!



青空の下、剪定作業中の会員

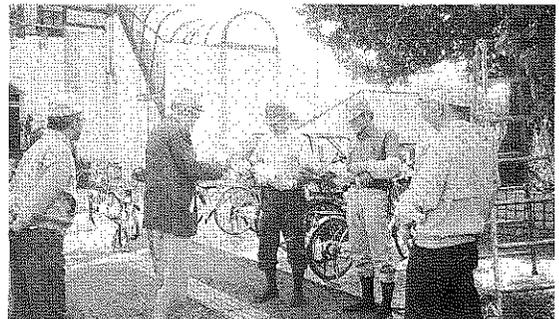
予報に反し、連続真夏日（30度以上）31日間の従来記録が101年振りに37日間に記録更新されると言う暑かった今夏。しかし諺どおりお彼岸の訪れと共に一気に秋めく。そんな9月20日(休)当センター会員安全就業推進委員会では、長野委員長を始め全会員と事務局より大野専務が加わり、植木職会員の皆さんが就業される現場を巡回、災害の防止を訴えられると共に日頃の労苦をねぎらい激励されました。

爽やかな秋空に向かって舞うが如くの恰好よい作業姿に一瞬は感嘆した。しかし直ちにちょっとでも注意を怠れば転落という飛んでもない危険にさらされ、更に鋭い切れ味の刃物を常に所持しての作業。その使用に当たっては言うに及ばず持ち歩き時、不使用の際の一時的な置き場所についてまで細心の注意を

予報に反し、連続真夏日（30度以上）31日間の従来記録が101年振りに37日間に記録更新されると言う暑かった今夏。しかし諺どおりお彼岸の訪れと共に一気に秋めく。そんな9月20日(休)当センター会員安全就業推進委員会では、長野委員長を始め全会員と事務局より大野専務が加わり、植木職会員の皆さんが就業される現場を巡回、災害の防止を訴えられると共に日頃の労苦をねぎらい激励されました。

当日は、本格的な秋の訪れを告げる透き通るような青空と涼風が舞う絶好の秋日和。予定に従って市内に散在する市立公民館のうち、吾妻、山口、柳瀬、並木の4公民館の植木剪定現場を巡回訪問する。各公民館の今回の受注条件は時勢を反映し、背丈の高い植木のみを予算額内で剪定すると言う厳しいもの。従って各現場とも大半が三脚を用いての高所剪定作業となる。ために全シ協が先に編集刊行した“安全就業のために”のパンフの中から、植木剪定安全作業ポイント②のイラストをコピー持参し委員長から会員個々に手渡し、作業上災害の絶対防止と、その通勤途上における交通事故の絶対防

止を期されたいと強く要請された。



会員に安全パンフを手渡す長野委員長

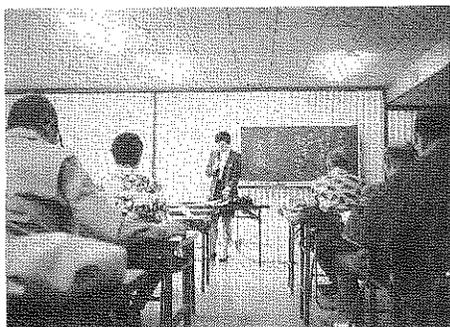
払わないと自身に止まらず、他の人にまで大変な危害を与えてしまうこととなる。恰好いい仕事どころか、瞬時も気を抜くことの許されない危険がいっぱいの仕事。まして本日のような爽やかな快晴の日など年間を通じては僅か。むしろ暑い日、寒い日、突然の天候異変などに悩まされる日々の方が余程に多い。

植木の剪定業務は当センターの主要事業部門の一つ。幸い植木職会員皆さんの高い技術と誠意が、多くの市民の方々に高く評価され、今、不況に苦しむ中で唯一需要増が期待できる業務。

その期待の大きい皆さんが、今後共細心の注意を払い健康の保持と共に、無事故・無災害で就業されることを念じたこの度の巡視でした。

＝自分の健康・自分の安全、自分で守る！！

会員安全研修会開催さる！！＝



講話中の小林郁子保健婦さん

去る10月13日(旧)旧市役所庁舎3階301会議室において会員安全研修会が開催されました。

今回の研修会は埼玉県所沢保健所の保健婦小林郁子先生を講師にお招きして「高齢者の健康管理について」と題し講演をいただき、安全就業の確保を健康管理の面からとらえるよう企画実施され、当日は理事長はじめ役員の方々並びに会員47名、計56名が参加聴講されました。

会は長野安全就業推進委員長の開会のことば、高橋理事長の挨拶に引き続き本題に入り、講師の小林先生が編

集された「健康歳時記」と題するレジメを印刷持参いただき、これを教材とした極めて分かり易い有益な講話でした。

健康歳時記は1月7日の、爪切りの日から12月28日の身体検査の日まで年間を通じ設定されている健康管理に関する運動日や運動週間等が月を追って列記され、保健・予防・症例・対応療法等が自然に読み取れる便利なもの。(当日参加できなかった会員の方で欲しい方は事務局へお申出下さい。差し上げます。)

講師の先生の締め括りの言葉は、健康も安全も最終は他人が守ってやることはできない。「自分の健康・自分の安全は、自分で守る」の心組みを先ず持って欲しいとのことでした。

＝女性会員、植木職一号さん！！＝

見上げるような大型トラックやタクシーを髪なびかせて颯爽と、かっこよく運転する女性プロドライバーが最近とみに目につく。各方面に一段と女性の進出が目覚ましい。

そんな中、当センターにも女性植木職1号さんが誕生いたしました。

上野日出子さん、当然ながら昭和一桁生まれ。



刈り込み作業中の上野さん

しかし、そんな年齢を全く感じさせない元気印。入会間もない某日就業現場を早速に訪ねてみますと写真のとおり貝塚の刈り込み作業に挑戦中。植木職としての入会の動機を伺うと、見る・聞くだけでは物足りない。何でもすぐ実行という行動派。とにかく植木の剪定が好きだからやりたかったと簡単。

今後男性植木職に組しての就業。安全の確保、体力的制約など検討を要する面も出てくるかも知れませんが、そこはシルバー人材センター。共働・共助の理念に徹し、すべてを乗り越え、女性会員による新分野開拓のパイオニアとして大いに活躍されることを願う次第です。

＝会員親睦旅行に参加して＝

山口地区 山本英香



榛名湖畔にて

年に一度の会員親睦旅行が本年も9月28日(木)～29日(金)の両日、ゆびそ温泉一泊の旅で実施され、元気で参加できましたことは特に高齢の私にとっては人一倍嬉しいことでした。しかも今回は79名の全参加者中、私が最高齢者ということで夜の懇親会に先立ち全参加者の前に立ちお祝い品まで頂戴できようとは思っても寄らない喜びでした。

思えば昭和56年3月停年退職後所沢に居を定め、翌57年7月1日シルバー人材センター会員として登録、昭和58年3月29日センターの推薦を得て西武の祈願寺大本山狭山不動寺で護摩符の宛名書き業務に就業。約7年間を経た昭和65年1月74歳になった妻が突然に発病、その介護のため就業を断念看護に当たりました。しかし、3月20日遂に不帰の客となりました。強いショックでしたがせめて3ヶ月でも看病してやれたことはお不動様の思し召しかと感謝して居ります。妻没後同居する筈であった家族は社用で海外勤務不在のため、今当センターだけを頼りの一人暮らし。最近のはかつての経験を活かす毛筆筆耕の仕事に備え研修会にも参加するなど毎日を頑張っています。

今回の親睦旅行にも多数の同志が参加、夜は毛筆筆耕の受講者三人と同室となり話も久し振りにはずみ、センターこそ今私の第二の人生の総てであると言っても過言ではない程の存在です。そのセンターも幹部・会員・職員の一致協力によりAランク昇進を果たすなど、心地よい緊張感・使命感にかられシルバーの会員であることに一段と誇りを感じ、益々頑張りたいと年齢を忘れて張り切る今日この頃です。初めて行ったゆびそ温泉、ホテルもお風呂も最高。赤城山麓は緑も濃く、清らかなせせらぎは心を洗う別世界。盛り上がった夜の宴会の終わりはいつものように全員で肩を組み、星影のワルツの大合唱で活躍を誓い楽しい初日を終わりました。二日目は広大な群馬フラワーパーク、感慨に満ちた富弘美術館など思い出に残る名所の見学、食事・休憩などを経て高崎から往路と同じ関越高速道をひた走り、暮れなずむ夕方の六時予定通り出発地センター前に無事帰着、二日間の旅を終えました。

所沢市シルバー人材センターの益々の発展と会員皆さんのまた明日からの一層のご活躍とご健勝を祈ります。



皆んで星影のワルツ合唱

市民フェスティバル大いに賑わう!!

“お母さんの味” おでん大好評



おでん販売中の婦人部会員

恒例の市民フェスティバルが、本年も10月28日（土）～29日（日）の両日、所沢航空記念公園を会場に開催され、好天に恵まれ延45万人の出入という大賑わい。

当センターでは、事業部会（ヨーヨー販売）、婦人部会（おでん販売）、リフォーム班（手作り小物販売）が合同で出店、それぞれの販売に汗を流しました。

一方平成8年度から積極的に事業化に取り組む予定の福祉家事援助サービス、並びにリフォームのPR用チラシ

の配布に、理事長始め、参加各部会員、事務局職員が声張り上げて頑張りました。

また、婦人部のおでん販売は「お母さんの味」が好評で、2日間の完売予定で用意した種子物が初日で完売という嬉しい誤算。小なりとは言え不景気風が吹きまくる暗い世情の中、“ワーイ”と思わず歓声上がる一幕もある等、存外に盛り上がった意義あるフェスティバル参加でした。

役員・地区委員・職員合同県外研修に参加して!!

新所沢地区 瀧本義郎



受講中の参加者

去る10月4日（水）～5日（木）の両日にわたる、センター役員・地区委員・職員合同による県外研修会に参加、水戸市シルバー人材センターを訪問、主として同センターの家事援助サービス事業の発足、現況等について見聞して参りました。

同事業は平成4年にスタート、現在順調に事業の進展を見て居られる由。市報への度重なる掲載、チラシの配布など発足前から市民の皆さんに対する広報効果と、高齢者が高齢者を世話するという事で年代が近く話題が

合うこと、また公的な人材センターを通すことにより、若い人の世話になるより安心感が持てる等がその主たる事由とのことでした。又、就業会員、特に女性会員にとっては、自分の家庭でやっていることの延長で、なじみやすく受注件数の80%を占め、男性会員にとっては、他人の家庭内の仕事にはなじめない難かしさがあるとのことでした。その他発足当初から家庭を持つ女性コーディネーターを配置し、就業先の適否を正確に判断、トラブルの未然防止に努めるなど円滑な業務を指導して居られるとのことでした。また、夫婦共稼ぎ家庭については夜9時頃まで子供を預り、宿題の指導まで行なえるような施設を設けてのサービスが欲しいとの要望もあったとのことでした。

以上今回の研修は福祉家事援助サービス事業についての見聞が主体でしたが、その他多くの参考事項も伺うことができました。

「自主・自立・共働・共助」の理念のもと、私達シルバー会員が生きがいを充実し、活力ある地域社会に貢献できる分野が多々あることを、あらためて強く感じさせられた研修でした。

水戸市シルバー人材センター研修に参加して

新所沢地区 穂 苺 葉



参加者、水戸市シルバー人材センター

事務所玄関前にて

並びにセンター職員の計三十七名が、既に平成四年十月より「福祉家事援助サービス」事業に取り組んで、素晴らしい成果を上げている水戸市シルバー人材センターを訪問、研修させてもらう。

午後一時過ぎ、センター理事長他、役職員に迎えられて、福祉家事援助サービスに平成三年より取り組んで来た経緯、そして翌年十月に発足され、以後今日まで素晴らしい成果をあげてこられた報告、更に今後会員の生きがい増進、市民の福祉向上の橋渡しをしていきたいと、同事業の推進に強い意欲を見せておられた。

又、コーディネーターの村上長子さんから運営状況、活動の現状、発注者と会員のパイプ役として、細かな心づかいを聞かせて頂く。現在「家事援助サービスにかかわっている人は120人（60歳～80歳）で、毎月60件～70件の受注があるとの事。又、会員の「家事援助サービス」の意識向上の研修会等、（講演会、介護の実技講習、料理講習、会員の経験交流会等）への積極的な参加、並びに地域の福祉活動の一端を担う、センター会員としての役割や意義の認識を特に持ってほしいとの事であった。

水戸市内の様々な福祉関係機関や、保健、病院等の団体へ、コーディネーター職員が訪問、事業内容、主旨を説明し、互いに正しく理解し合うように努めておられ、それぞれの関係機関の担当者とのネットワークを確立して居られる村上コーディネーターのすばらしさには頭が下がる思いであった。

所沢市シルバー人材センターの「福祉家事援助サービス事業」の発足に当っては、水戸市の村上さんのようなコーディネーターの方がおられたらと……。会員の信頼と、センターの信用を一身に受けて働いておられる姿に感激して、水戸シルバー人材センターを後にした。

有意義な研修に参加させて頂いた事を感謝して……。

＝料理教室のご案内＝

婦人部主催による料理教室を下記により開催いたします。奮ってご参加下さい。

記

1. 日 時 平成7年12月6日(休)午前10時より
2. 場 所 新所沢公民館
3. 定 員 30名(申込先着順)
4. 申込方法及び期限 平成7年11月末日までに電話でセンター事務所へ。



「帰らないで……」 !!

所沢地区 加藤文七

「帰らないで下さい、日本軍の皆さん、ずうと長くここに居て下さい」。

昭和21年4月、終戦復員のためその準備中の私達の部隊に、付近住民の主立った者、夫人等代表数人が衛生所入口の所に来て「お願いだから」と言っているのだった。

当時私達は、仏領印度支那（現在のベトナム）北部に駐屯、終戦を迎え、北緯16度以北は中国軍により武装解除されホンゲイ炭鉱の鉱員長屋に集合させられ、何時帰国できるか不明の中で、農耕・養鶏・養豚・漁撈等種々自活の道を講じていた。

無煙炭の産出で有名だったホンゲイ炭鉱は休業状態で、炭鉱長屋は荒れ放題。屋根・扉は一切なく、建物の囲壁だけが煉瓦造りのため辛うじて残っている状態だった。先ずニッパ椰子の葉を集めて屋根を葺き、枯草を集めて敷物とし、藎等を編んで出入口を塞ぎ、どうにか起居できるようにし、又砂礫混じりの痩せ地を開墾して野菜を作るなど自活のための作業の毎日だった。

そんな期間を経て、なんとか纏まって生活することとなったので衛兵所を設けラップで起床、食事、消燈等の日課を定め、規律ある生活を取り戻して七ヶ月余。そこに近々復員のための輸送船が海防（ハイフォン）に入港するので引き揚げの用意をするようにとの急な知らせ。日程に余裕がなく急いで現地自活の品々を整理することとなる。

ホンゲイより海防までは、海岸沿いの道程で約30軒。途中の河川に架かっていた橋は殆ど破損のため海上を船で行くのが一番であったが、船の手配がつかず止むを得ず陸路を徒歩となり困難を極めた。

その頃仏領印度支那（ベトナム）ではベトミン（越南独立同盟＝越盟）が勢力を強め、治安は良くなかった。従って住民にとって、日本軍はすでに武装解除され、武器は持っていないが、そこに居ることによって治安も保たれ安心して生活できる。それが今、急に引き上げられると治安が悪くなり不安だから、是非長く日本軍に居て欲しいと言う願いであった。しかし、部落の責任者に復員のため引き上げざるを得ない事情をよく説明して納得してもらい、自活のために使った品々全部を住民に与え、海陸を乗り継いで引き揚げ輸送船が待つ海防（ハイフォン）へ到着した次第だった。

私達が所属した安本隊は現役兵のバリバリ部隊だったから、北支の江蘇省灌雲県南新安鎮に駐屯した時も「盗るな、犯すな、施せ」の方針の下に、軍の威光を笠に着て住民の物品を盗んではいけない、女性を絶対に犯してはいけない、徳をこそ施せを真心をもって実行し、誠意をもって任務に邁進した。

この事は住民からも大変好感を持たれた。作戦参加のため16年4月、後続部隊に任務を引継ぎ出発することとなったが、その際も惜別の情一入で部落民は総出で手製の日章旗を打ち振り、爆竹を焚いて励ましてくれ、部隊が見えなくなるまで見送ってくれたこともあった。

海防（ハイフォン）においての中国軍による武装解除、兵器の引渡しは、通常の兵器検査の要領で兵員の立会いはなく、広い倉庫によく手入れをして品名、数量別に整然と並べ引渡した。中国軍の引受け隊長は深く感激の面持ち一杯で、私の手を両手で強く握りしめ「日本軍のこの兵器引渡しは誠に立派である。この精神、この誠意がある限り日本は戦いには敗れたとは言え、必ず近い将来復興することを信じて疑わない。どうか元気で頑張ってください」と激励される一幕もあった。

いよいよ明日引揚げ船に乗船帰国することとなった夜半、安南独立運動に挺身し日本軍に好意を寄せている安南の友人に、情報係が暗闇にまぎれ別れの挨拶に行ったところ、ここでも力強く両手を握ら

れ「日本は東洋の犠牲になったのだ、あなた達は我々の兄貴分である。戦いには敗れたけれど近いうちに復興し、この安南にくる日があるだろう。その時は又こちらに来て我々を指導して欲しい」と激励され固く手を握り返され別れたと言う。

21年4月半ば、いよいよ幾多の感慨を胸に秘め、数々の戦友の眠る地を後に海防港より引揚げ船に乗船、帰国の途についた。この際も住民に大変慕われ「帰らないで下さい。もっと長く居て下さい」と別離を惜しまれました。

濃い褐色の肌の女性は、南京袋を頭からすっぽり被り顔と両腕を出し、現在ならファッションショーよろしくというところであろうか。三々五々に立ち並び涙を浮かべ、手で顔を覆い「帰らないで」と哀惜の情を込め、何時までも手を振って見送ってくれた。彼等のこれからの人生にもそれぞれ幸多かれと祈るのみであった。

幾多の戦闘で一度も敗れたことがなく、殆ど無傷の現役部隊二千有余名は整齊と、しかも肅々と復員し、祖国の再建に寄与したが光陰矢の如し、既に50年前のこととなった。

平成7年度 会員親睦旅行収支計算報告

去る9月28日(木)～29日(金)の両日、群馬県ゆびそ温泉一泊で実施された平成7年度会員親睦旅行にご参加下さいました会員の皆さんお疲れ様でした。

両日共、暑い程の好天に恵まれ、それが旅行だからとも言えると思いますが、お一人の方がちょっとした心のゆるみから転倒受傷されました。しかしそれも大事に至らず、和気あいあいの中、予定通り見学その他を済ませ、楽しく思い出深く終了することができました。

収支について、右表のとおりご報告いたします。ご検分の上何卒ご諒承下さい。

また来年も趣向を凝らし計画する予定です。多数、会員の皆さんのご参加をお待ちいたします。

なお、本旅行中の各所でのスナップ写真をセンター事務所に掲示、購入申し込みを受け付けております。11月末日までにお申し込み下さい。

<収入の部>

項目	金額	備考
会費	1,476,000	18,000×82
寸志	20,000	山本理事・松野会員 各10,000
宴会くじ当選返納	1,000	
職員負担金	20,000	
前年度繰越金	137,889	
預金利息	696	
合計(A)	1,655,585	

<支出の部>

項目	金額	備考
心付	18,000	添乗員4,000 運転手4,000×2 ガイド2,000×2 仲居2,000
車内つまみ飲み物	70,720	
写真フィルム等	3,000	
旅行傷害保険料	26,100	
有料道路	36,350	
ホテル湯の陣	996,630	宴会費含む
昼食代	142,709	9/28上州物産飲み物含む
おもちゃと人形博物館	60,900	
昼食代	121,350	9/29小平の里飲み物含む
車内用飲み物	2,956	
富弘美術館	20,400	
ぐんまフラワーパーク	600	引率者のみ
土産代	87,000	
事務連絡通信費	80	
写真代	4,300	
負傷者交通費	12,410	
合計(B)	1,603,505	

収支差額(A)-(B)	52,080	残金(C)
-------------	--------	-------

残金(C)について次年度繰越とさせていただきます。

社団法人所沢市シルバー人材センター 事務局

皆さんの努力結果

月	会員数	受託件数	就業人員		契約金額			
			実人員	延人員	配分金	事務費	その他	計
7	768	162	350	5,438	22,433,549	1,329,219	686,237	24,449,005
8	774	151	339	5,134	20,670,646	1,276,155	493,612	22,440,413
9	785	174	347	5,261	21,422,614	1,730,443	930,142	24,083,199
合計		487		15,833	64,526,809	4,335,817	2,109,991	70,972,617



＝是非ご利用下さい。 洋服・和服のリフォーム＝

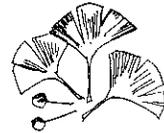
当センターのリフォーム会員による洋服・ズボン・スカート等のサイズ直し、ご不用となった和・洋服を利用しての小物作りなどのリフォームを下記により行なっております。何とぞご用命下さい。

1) ご注文の受付は、センター事務所で。

なお、細かな希望などございましたら毎週火・木の午前中、担当会員が受付を行なっております。

2) 料金の一例

*上 着	袖丈直し(袖口で)	¥ 2,100より
*ズボン	裾上げ シングル	¥ 900より
*スカート	丈詰め(出し) タイトスカート	¥ 1,500より
*ワンピース	袖丈直し(袖口で)	¥ 1,500より
*パンツ	丈詰め(裾で) 出し	¥ 800~1,000より



＝会員作品展の開催＝

例年、多数会員の皆さんから精魂込めた作品の展覧を頂き、好評を得ております作品展を明年も下記により開催いたします。

より多くの会員皆様の応募出品をお待ちいたします。期日に遅れぬよう出品下さい。

1. 日 時 平成8年1月16日(火)～17日(水) 午前9時～午後4時30分
2. 場 所 旧市役所2階202会議室
3. 課 題 絵・書・陶芸・編み物等手工芸品・盆栽・その他
4. 作品提出期限 平成8年1月10日(水)までにセンター提出



時の流れは早い。暑い暑いと汗流した日々がいつの間にも思われるのに、アッと言う間に紅葉の季節も終わり師走がすぐそこ、そしてまた新しい年を迎える。

今年は年明け早々に阪神、淡路大震災という大惨事で幕明け、そして東京地下鉄サリン事件という未曾有の事件発生によって、オウム真理教という得体の知れない宗教集団が行なったと見られる事件の数々が摘発され表面化。以後、連日連夜、その報道の明け暮れで今年は終わりそう。

10月22日に投票が行なわれた所沢市長選挙も投票率26%台とは驚き。`他人任せが一番`では無責任。唯一明るいニュースは、野球アメリカ大リーガーピッチャーとして頑張り13勝をあげた野茂選手の大活躍。

世情がどうあろうと、我がセンターは目標を定めて奮闘。福祉・家事援助サービス事業の事業化実現、就業率の向上、災害ゼロの達成。目標のあるところに暗さはありません。

年末年始は何かと繁忙、そして厳寒の時期です。早い挨拶となりますが、就業に当たって、また日常生活においても絶対無理を避け、安全の確保に努められると共に、風邪など引かないよう健康に留意されまして無事年を送り、新しい年を迎えられますようお祈りする次第です。次号は、明年3月15日発行となります。原稿締切は2月20日、平成7年度最終号となります。随筆・旅行記・短歌・俳句何でも結構です。多数会員皆様のご寄稿をお待ちいたします。(A.S記)